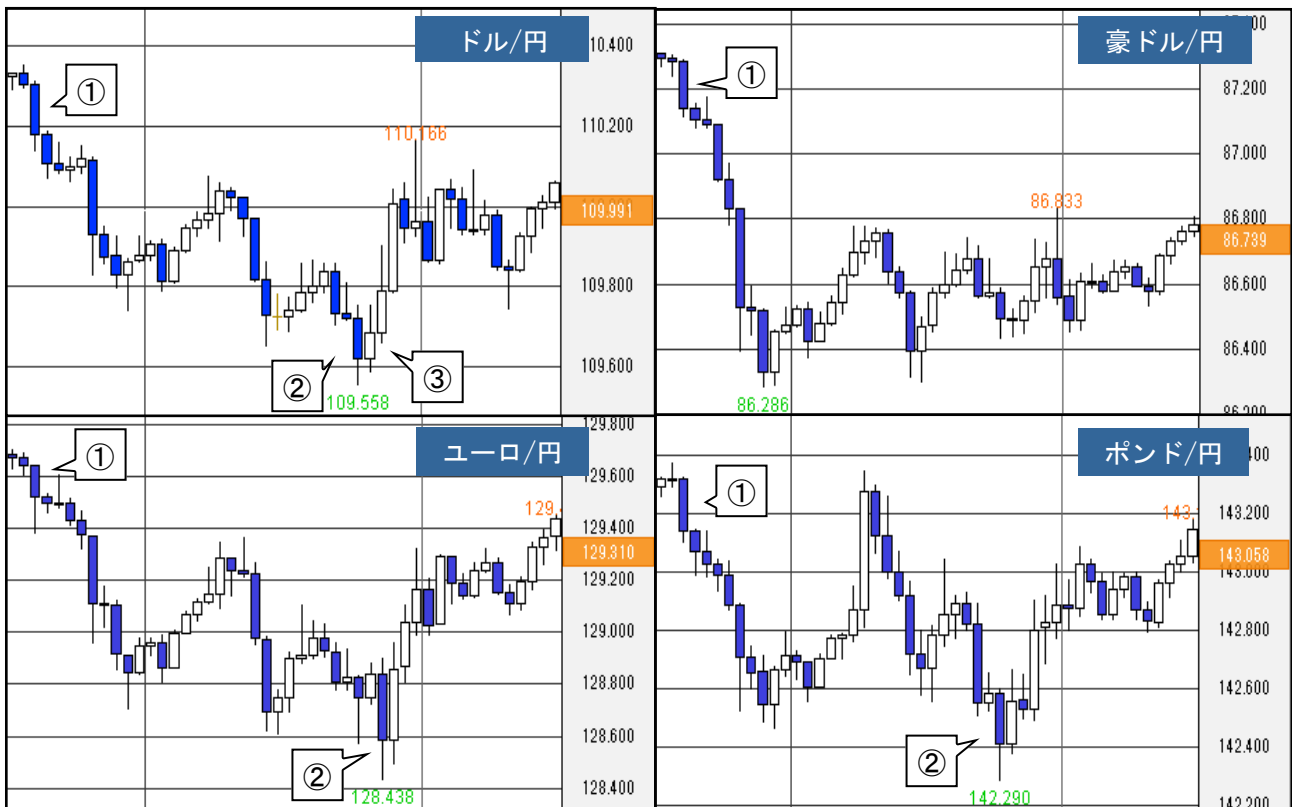


8月10日(木曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## ドル/円、サポートラインに注目

### 9日(水)の為替相場



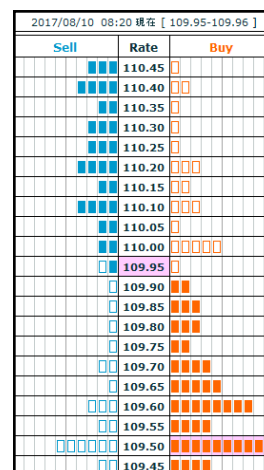
期間：9日(水)午前6時10分～10日(木)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 北朝鮮が「(米軍基地のある)グアムへのミサイル攻撃を『慎重に検討』している」と発表した。米朝間の緊張が高まる中、地政学リスクが意識されて円買いが活発化。豪ドル/円については、ケント豪中銀(RBA)総裁補佐が、「商品相場と関連のない豪ドル高は成長を阻害」などと発言した事も重しとなり、86.20円台まで続落した。
- ② 「北朝鮮リスク」への警戒ムードが欧州市場にも伝染。独DAX指数が1%超下落するなど、欧州株が軒並み軟化する中、独や英の長期金利が大幅に低下した。ユーロやポンドが売られた一方、円はリスク回避で買われた。ユーロ/円やポンド/円が下げ幅を拡大した動きに連れてドル/円は、6月15日以来の安値となる109.558円まで下落した。
- ③ 米4-6月期非農業部門労働生産性・速報値は前期比年率+0.9%と市場予想(+0.7%)を上回る伸びを示した。また、米4-6月期単位労働コスト・速報値は前期比年率+0.6%と予想(+1.1%)を下回ったが、1-3月期の改定値が、同+5.4%へ大幅に上方修正(速報値+2.2%)された。その他、米6月卸売在庫は前月比+0.7%と予想(+0.6%)を上回った。これらを受けて、米長期金利の低下が一服するとドルに買戻しが入った。

9日(水)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
19738.71 (▼257.3)	5765.660 (△21.906)	3275.573 (▼6.300)	7498.06 (▼44.67)	12154.00 (▼138.05)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
22048.70 (▼36.64)	0.0580% (▼0.0120)	2.642% (△0.015)	1.109% (▼0.048)	0.428% (▼0.046)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3387% (▼0.0121)	2.2476% (▼0.0143)	49.56 (△0.39)	1279.30 (△16.70)	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	109.100-110.300	128.500-129.700	86.200-87.300	141.900-143.700

【ドル/円】

ドル/円相場は今月に入り日足の一目均衡表の転換線が上値抵抗となる中、昨日はこれまでの今月安値水準であった109.80円レベルを割ると、109.50円台まで一段と下落して4月と6月の安値を結ぶサポートラインに迫った。本日も転換線(執筆時110.303円)より下で始まっており、同線を回復できない間は下値模索の動きが先行しやすいと見る。前述のサポートライン(本日は109.40円台)を割ってしまうと、6月14日安値(108.787円)まで主だった目処が見当たらないため、心理的節目の109円ちょうどに向けた一段安も考えられる。なお、米国で新規失業保険申請件数や7月生産者物価指数、ダドリーNY連銀総裁講演などが予定されている。その他、昨日の下落の主因である北朝鮮情勢にも注意が必要だろう。

執筆者：川畑

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/10(木)	17:30	○	(英) 6月鉱工業生産(前月比)	-0.1%	+0.1%
	17:30		(英) 6月製造業生産(前月比)	-0.2%	±0.0%
	17:30	○	(英) 6月貿易収支	-118.63億GBP	-110.00億GBP
	21:30	○	(米) 新規失業保険申請件数	24.0万件	24.0万件
	21:30	○	(米) 7月生産者物価指数(前月比)	+0.1%	+0.1%
	21:30	○	(米) 7月生産者物価指数(前年比)	+2.0%	+2.2%
	21:30	○	(米) 7月生産者物価指数(コア:前年比)	+1.9%	+2.1%
	23:00	○	(米) ダドリー米ニューヨーク連銀総裁、講演	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承いたします。